

### テーマ3 子どもに自信をつけるほめ方

#### 【ねらい】

事例を通して普段の子どもへの声かけを振り返り、親の思いだけで子どもの気持ちを考えずに励ましたりほめたりすると、子どもが親の思いに合うように行動しようとして疲れてしまうこともあることに気づく。同時に、子どもが喜びを感じる励ましやほめ言葉は、子どもにとって大きな自信となり積極的な活動につながることから、自信を持たせるほめ方のポイントについて学ぶ。

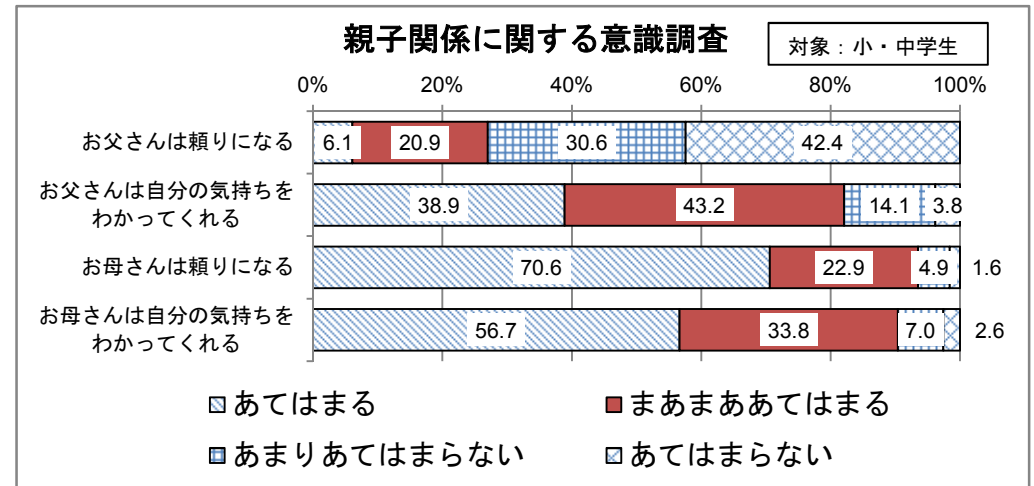
#### 【活動の流れ】

- 1 事例を読み、普段の子どもへの声かけについて振り返る。
- 2 ほめ言葉により、子どもが自信を持ち考えて行動するようになったことをワークシートに書く。
- 3 ワークシートに書いた内容を発表し、話し合う。
- 4 話し合いから、自信を持たせるほめ方のポイントをワークシートにまとめる。
- 5 ワークシートに書いたことを交流する。
- 6 話し合いのまとめをする。

#### 【支援のポイント】

- 事例を通して、普段の声かけや励ましは親自身の思いだけでなく、子どもの気持ちを考えて励ましやほめ言葉になっているかを振り返ることができるようにする。
- 普段の声かけが、子どもを急がせることや子どもを叱ること、子どもに命令することにかたよっていないかを振り返り、ほめ言葉が少ないことに気づくように導く。
- ほめ言葉をきっかけに、どんな小さなことでもよいので子どもが今までと変化したことを思い出せるよう、簡単な例を示していく。
- 学習や遊びを通して個性を伸ばしていくこの時期は、ほめ言葉により一層自信を持って何事にも積極的に取り組むようになる可能性があることを伝える。
- 単にほめるのではなく、子どもの気持ちを考えてほめ方をしないと、子どもは親の顔色を見ながら親の思いに合うように行動しようとし、疲れてしまう場合もあることを伝える。
- 事例はほめ言葉であるが、同時に叱り方についても話が広がるように展開する。

#### 【参考資料】



【平成25年度小学生・中学生の意識に関する調査（内閣府）】

#### 「ありがとう」がいっぱい 4年児童

わたしの家族がよく使う言葉は「ありがとう」です。送ってくれてありがとう。取ってくれてありがとう。お祝いしてくれてありがとう。何かしてもらったときに「ありがとう」とみんなが言います。わたしも家族に言いたいことは何かなあと考えてみると、遊んでくれてありがとう。かみの毛をかかわかしてくれてありがとう。教えてくれてありがとう。かん病してくれてありがとう。ごはんを作ってくれてありがとう。とたくさんの「ありがとう」がまだまだあります。

「ありがとう」を言うのは、何かしてもらった時や感しゃしている時など、うれしい気持ちがいっぱいだな、と感じます。わたしは、「ありがとう」と言った後、とてもスカッとした気持ちになります。反対に「ありがとう」と言われた時は、うれしくなるし、してよかったと思います。

ふだんは何も考えずに使っている言葉だけれど、「ありがとう」にはとても不思議な力があって、言った人も言われた人も気持ちよくて温かい気持ちになるし、笑顔になるのだなと思います。家族みんなが笑顔でいることはわたしはとてもうれしいし、笑顔になると、もっと楽しくなると思います。

わたしは、これから家の中を「ありがとう」でいっぱいにして、楽しい家になりたいと思います。

【平成29年度「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文、絵画・ポスターコンクール入賞作品集

主催：滋賀県青少年育成県民会議